



報道関係者各位
プレスリリース

2011年10月11日
東日本大震災子ども未来基金

第2次選定、さらに70人の支給を決定

特定非営利活動法人(NPO 法人)東日本大震災子ども未来基金(高成田享理事長)は10月10日、仙台市内で選定委員会(渡邊剛委員長)を開き、第2次選定分として、小学生27人、中学生20人、高校生23人の合計70人に、高校卒業時まで最長5年間、月2万円の学資支援をすることを決めた。選定された児童・生徒には各学校長を通じて伝達し、今月中に10月～12月分からの支給を開始する予定。前回の第1次選定では38人の児童・生徒への支給を決め7月～9月分から支給し始めているため、今回の決定で、支援する児童・生徒の総数は108人になる。学資支援金は贈与で返済は不要。

当基金は、東日本大震災で親をなくした子どもたちの学資を支援しようと、4月末に任意団体として設立され、募金いただいた全額を子どもたちの学資支援に使うという約束で、募金を開始した。7月にかけて、学資支援の希望者を児童・生徒の通う学校長を通じて募集したところ、岩手、宮城、福島3県から127人の応募があり、7月上旬に開いた第1次の選定委員会で、38人の児童・生徒への支給を決めた。その後、8月下旬には宮城県から認可を受けて、NPO 法人となった。募金には、多くの個人や団体、企業が加わっており、海外の個人や団体からの寄付も増加している。

今回の決定で、第1次分を含め、基金としての学資支援金の予定額(コミットメント)は、8646万円になる。これまでの基金の募金総額は、約6600万円。なお、当基金は10月23日に仙台市内で、NPO法人の理事会及び総会を開き、今回の決定を踏まえた現状報告や今後の活動方針などを決める予定。

高成田享理事長のコメント:多くの個人や団体、企業のみなさまのご協力で、第2次分として70人の子どもたちに支援の手を差し伸べることができ、深く感謝しています。学資支援を支給する児童・生徒には、震災の困難を乗り越えて、勉学に励んでほしいという多くの人々の願いが込められていることを伝えたいと思います。今回の選定でコミットメントした支払予定額に対して、募金額はまだ不足しているため、今後も積極的な募金活動を進めるつもりです。あらためて、みなさまのご協力をお願いします。

〔プレスリリースに関するお問い合わせ〕

特定非営利活動法人 東日本大震災子ども未来基金

〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-3-12-902

電話：022-398-7129 e-mail: info@mirai-kikin.com <http://mirai-kikin.com>

事務局長・阿部恭子

理事長・高成田享 (090-5581-9746)